

チューリップ(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使 用 回 数	青 か び 病	葉 腐 病	う ど ん こ 病	灰 色 か び 病	褐 色 斑 点 病	球 根 腐 敗 病	か い よ う 病	皮 腐 病	ア ブ ラ ム シ 類	コ ナ ジ ラ ミ 類	チ ュー リ ッ プ サ ビ ダ ニ	ネ ダ ニ
トップジンM水㊟	1		*a	1						◎						
ベンレート水㊟	1		*a *f	2						◎						
アフエットFL	7		*d	3			◎	◎	◎							
カナメFL	7	劇	*f	1		球						球				
バンタック粉剤DL	7		*f	1		◎										
フロンサイド水	29		*d *f	7 1				◎	◎		球	球				
フロンサイド粉	29		*f	1		◎										
オンリーワンFL	3		*f	1						◎						
スポルタック乳	3		*f	1						◎						
トリフミン水	3		*f	1						◎						
トリフミン乳	3		*f	1						◎						
リゾレックス水	14		*f *e	1 5		◎										
リゾレックス粉	14		*c	1		◎										
エムダイファー水	M3		*d	8					◎							
オーソサイド水80	M4		*b	8	◎											
ダコニール1000	M5		*l	6					◎							
ベルコートFL	M7		*l	8				◎	◎							
アタッキン水	1・25		*a	1						◎	◎					
ホームイコート㊟	1・M3		*a	1						◎						
ホームイ水㊟	1・M3		*a	1						◎						
ラビライト水	1・M3		-	5				◎	◎							
ティービック水	20・M3		*f	1		◎										
ジメトエート粒5	1B	劇	*i	3												◎
コルト顆水	9B		*h	4								◎	◎			
ハチハチFL	21A	劇	*h *j	3 1								◎			球	
ダニゲッターFL	23		*f	1											球	
モベントFL	23		*k	2											◎	
ウララ50DF	29		*h	6									◎			

㊟：チオファネートメチル含有剤 ㊟：ベノミル含有剤 ㊟を使用した場合には同じ作での㊟は使用しないこと。その逆も同様（種子への処理および塗布処理を除く）。

*a: 植付前又は貯蔵前 *b: 球根掘取時及び植付時(球根浸漬) *c: 植付時 *d: 発病初期

*e: 植付後～萌芽前 *f: 植付前 *h: 発生初期 *i: 定植時 *j: 掘取後～植付前

*k: 摘花後～球根掘取前まで 球: 球根浸漬 *l: 発病前～発病初期

チューリップ(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
葉腐病	植付前または植付時	<ul style="list-style-type: none"> 発病のおそれのある所では次の薬剤のいずれかを処理し、土壌混和する。 フロンサイド粉剤 植付前 30～40kg/10a リゾレックス粉剤 植付時 10～20kg/10a 	病原菌は低温性のリゾクトニア菌である。
灰色かび病		<ul style="list-style-type: none"> 室内、フレーム内はできるだけ湿度を低く保つ。 	●耐性菌を生じるおそれがあるので連用しない。
	生育期(出蕾前)	<ul style="list-style-type: none"> 発病前から次の薬剤のいずれかを散布する。 フロンサイド水和剤 2000～4000倍 ラビライト水和剤● 500～800倍 	
球根腐敗病	植付前または貯蔵前	<ol style="list-style-type: none"> 購入球根はただちに平箱にひろげ、病球を除去して十分乾燥させる。 貯蔵前又は植付前に次の薬剤のいずれかで球根消毒する。 <ul style="list-style-type: none"> アタッキン水和剤 球根重の0.2～0.5%粉衣 スポルタック乳剤# 100倍15分または200倍30分浸漬 フロンサイド水和剤# 100～200倍15分浸漬 ベンレート水和剤○ 20倍瞬間浸漬# 100～500倍15～30分浸漬 球根重の0.1～0.2%粉衣 ホーマイ水和剤○200倍 30分浸漬 球根重の1%粉衣 次の薬剤いずれかで土壌消毒する。 <ul style="list-style-type: none"> ガスタード微粒剤* バスアミド微粒剤* いずれも20～30kg/10a 	球根消毒(浸漬消毒)の終わったものは陰干し後、貯蔵する。 #植付前のみ適用 *花き類・観葉植物での登録
かいよう病	植付前	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤で球根を粉衣する。 アタッキン水和剤 球根重の0.2～0.5%粉衣 	春先寒暖の差が激しい年に発生が多くなる。 病原細菌は種球で越冬する。

チューリップ(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
アブラムシ類		1. 発生初期に次のいずれかの薬剤を散布する。 オルトラン粒剤(株元散布)* 3~6kg/10a ウララ50DF 10000倍 2. 施設栽培ではくん煙剤を使用する(くん煙剤の項参照)。	つぼみや花弁に寄生が多い。 *花き類・観葉植物での登録
チューリップサビダニ	植付前	・次の薬剤で球根浸漬を行う。 ダニゲッターフロアブル 500倍 15分	
クキセンチュウ	植付前	1. 連作をさける。 2. 球根を50℃の温湯に20~30分間浸漬する。	
その他の病害虫		モザイク病	